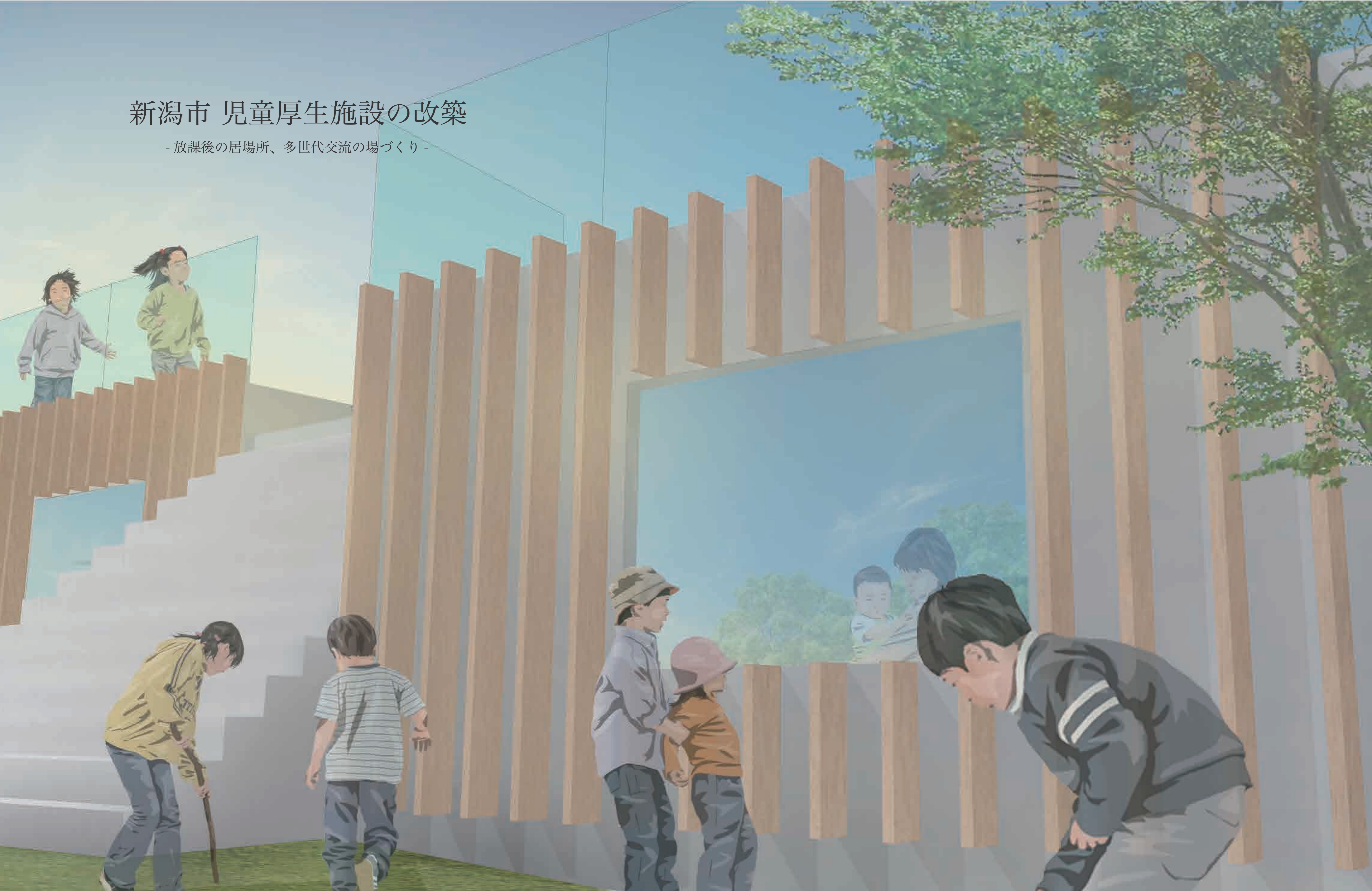


新潟市 児童厚生施設の改築

- 放課後の居場所、多世代交流の場づくり -



▲ 東側庭園で遊ぶ児童たち・ルーバーパネル

【研究背景】

日本では少子化が深刻な問題となっている中、研究対象の児童センターの登録児童数は年々増加し、館内はゆとりのない状態にある。更に行事がある日には、幼児～高校生、保護者、近隣福祉施設や地域の方々など幅広く多くの利用者が集い、定員過剰となる。また、児童たちの賑やかさは反対に、外観や園庭は廃れ、見晴らしは決して良くない。このような現状を見直し、地域の子どもの健全育成と子育て家庭を支援する拠点として、安心して利用できる児童センターを提案したいと考えた。

【概要】

■ 児童館の概要

児童福祉施設の一つで、0～18歳未満の子どもたちが自由に利用できる施設。専門の職員（児童厚生員）を配置して、子どもたちの遊びを通じた健全育成を支援している。

■ 種類

- ・小型児童館（面積：217.6㎡以上）
- ・**児童センター**（面積：336.6㎡以上）
- ・大型児童センター（面積：500㎡以上）
- ・大型児童館 A型（面積：2000㎡以上）
B型（面積：1500㎡以上）

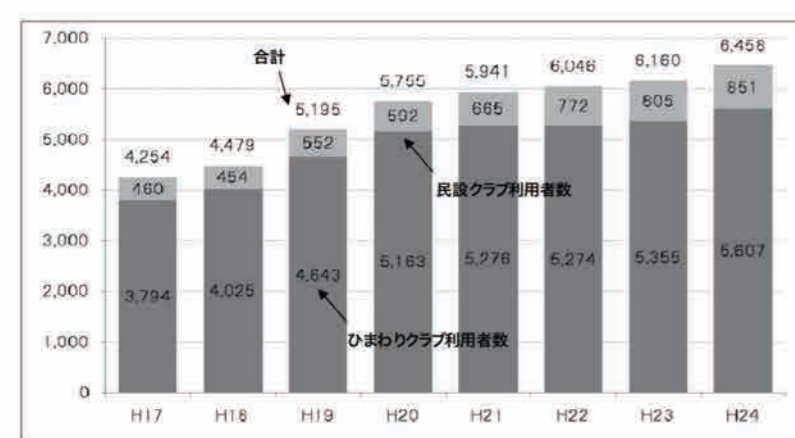
大型児童センターは児童センターの機能に加え、年長児童用設備（スタジオ・トレーニング施設等）が必要とされる。研究対象の児童センターは、延床面積645.5㎡あるが、年長児童用設備がないため、児童センターに属することが分かった。

■ 児童センターの役割

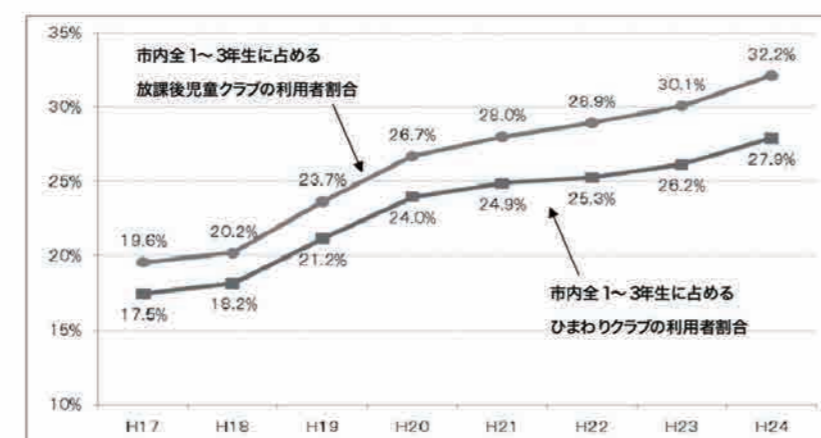
- ①健全な遊びを通して、児童の集団及び個別指導の実施。年長児の自主的な活動に対する支援
- ②母親クラブ、子ども会等の地域組織活動の育成・助長
- ③子育て不安や悩みを抱える母親への相談援助等の子育て家庭に対する支援
- ④その他地域における児童健全育成に必要な活動
- ⑤体力増進活動

■ 児童クラブ登録児童数の変化

新潟市放課後児童クラブ利用者数の推移（単位：人）



新潟市放課後児童クラブ利用者割合の推移



考えられる増加理由

- ・共働き世帯の増加
- ・一人っ子の増加
- ・4～6年生の利用者数の増加
- (上に兄、姉がおらず、一人で留守番することになるので小学校卒業時まで児童クラブに預ける家庭が増えたのではないかと)
- ・長期休暇中の開館
- (小学校が長期休みに入っても朝から開館しているので校区外の小学校の児童の利用数も増えているのではないかと)

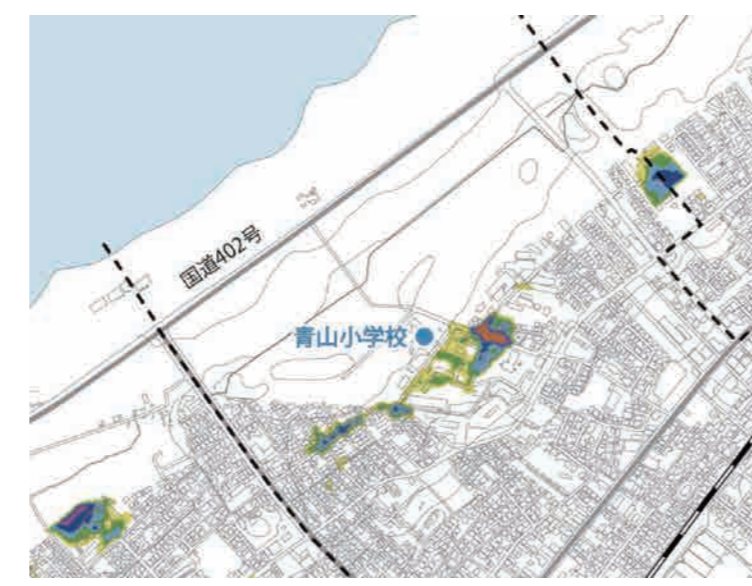
■ ハザードマップ



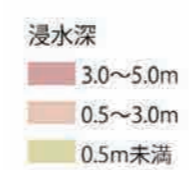
津波浸水想定図



洪水・土砂災害ハザードマップ



浸水ハザードマップ



https://www.city.niigata.lg.jp/kurashi/bosai/hinanjo/kouzui_hinanchizu/sougou_map/bosai_07sougou.files/46.pdf

【現地調査】

■ 交流が行われていた箇所

- ① 隣接することも園の園児も訪れやすく。園児、または児童の兄弟である園児が帰りに遊んでいる様子をよく見た。反対に夕方に全児童でことも園の園庭に出て活動することがあるので、互いに行き来しやすく、繋がりを持たせる。
- ② 駐車場－庭－館の動線。保護者が迎えに来て、駐車場に戻る前に遊具で遊んでから帰る児童が多い。その際、帰る時間が重なった児童達、保護者同士のコミュニティの場でもある。
- ③ 行事が無い日でも他施設の方と交流を多く図れる唯一の場所。隣接する福祉会館の役員の方とよく顔を合わせることがあり、実際に役員の方が児童たちを見守ってくれたり、一緒に行事に参加して下さることもある。また、この場で児童館のスタッフとも世間話や意見交換など会話を交わしている。
- ④ 地域の方と最も交流しやすいスペース。外部に面していて更に外部とGLの高さが同じ。通りすがった近所の方と児童と近い視線で会話や挨拶を交わせる。実際に、向かいに住むお婆さんがこの場にある花壇に腰をかけてゆっくりしつつ、児童の登下校を見送ったり、趣味の編み物をしたり、時にはそれを児童たちにプレゼントし、交流が深まっていた。



■ ヒアリング

- 強み：・福祉関係を学べる。
・異学年と交流できる。→成長につながる
(学校にいても他学年と遊ぶことは少ないが、センターでは学年関係なくみんなで遊んでいる。)
・体育館や外で体を動かせる。
(家ではできない。他の児童館は体育館がない所もある。公園で遊ぶ子が減っている。雨が降っても館内で広々遊べる。)

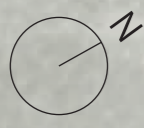
- あればいい設備
・シャワールーム
(午前中に草むしりなど庭の整備をして、昼休みに毎回家へ帰っていた。家の違いスタッフは困る。)
・事務室を広くしたい (常時スタッフ5人、ボランティア4人)
・半外部空間

『コンセプト』

「もう一つの家」×「交流の架け橋」

「もう一つの家」・・・保護者が迎えに来るまでの間の児童たちのお家。ただ待つて過ごす場ではなく、「遊び」「生活」「静養」を提供し過ごしてもらおう場。保護者、児童が共に安心して利用できる場にする。

「交流の架け橋」・・・普段の児童クラブや行事で「児童同士」「児童と親、幼児、福祉、地域」と世代を越えた交流がこれからもたくさん生まれるような空間を目指す。



青山海岸



① 有明こども園：(幼保連携型認定こども園)

緑豊かな自然に囲まれた定員155名のこども園。有明福祉タウン内に位置し、恵まれた環境を生かして、子どもたちがのびのびと健やかに育つように保育をしている。(旧 有明保育園を改築し、H28.4～新園舎に)



② 有明荘 (救護施設)

日常生活をおくる事が困難な人たちが、健康に安心して生活するための定員100名の救護施設。利用者一人一人に合った支援を行い、自立心を養いながら、生きがいや喜びを感じられる生活を提供している。



③ 有明センター (高齢者保健文化施設)

高齢者の生きがいづくりの場として設置された。60歳以上の人の入浴利用、和室での囲碁、将棋、休憩など常時多くの人から親しまれている。



④ 有明ハイツ (軽費老人ホーム)

和やかで家庭的な雰囲気の中で、健康で明るく充実した生活をおくるための定員90名の軽費老人ホーム(A型)。健康で明るく心豊かな生活をおくれるようなサービスを提供。



⑤ ケアハウス有明 (軽費老人ホーム)

恵まれた自然環境のもとで自由に明るく、のびのびと生活をおくるための定員40名の軽費老人ホーム。四季折々の花々が咲く豊かな自然の中で心とらぐ暮らしを提供。



⑥ 有明園

入所者の意思及び人格を尊重し、常にその人の立場に立ってサービスを提供している。また、明るく家庭的な雰囲気を有し、地域や家庭との結びつきを重視した運営を行い、各関係機関との密接な連携に努める。



有明児童センター

種別：児童厚生施設
所在地：新潟市西区西有明町
創立：1980年(昭和55年)
構造・規模：RC造・2階建
敷地面積：約2,700㎡
延べ床面積：645.5㎡
対象：0歳～18歳までの児童。乳幼児の付き添い・ボランティア等

子どもに健全な遊びを提供することで、その心身の健康を増進し、情操を豊かにすることを目的に、子どもたちが安心して過ごせる場として、それにふさわしい環境を整え、子どもたちの発達段階に応じた主体的な遊びが可能になるように支援している。

新潟市立 青山小学校

研究対象施設

有明福祉タウン

新潟市西部外、日本海と松林に囲まれた風光明媚の地。この恵まれた環境のなか、「社会福祉法人 新潟市社会事業協会」と「社会福祉法人 新潟市有明福祉事業協会」によって経営されている、各種福祉施設が総合的に隣接する一大福祉拠点。



⑧ 有明福祉センター

有明福祉会館は、地域の皆さんの活動を支援するため、地域の拠点としての場の提供やボランティア活動の支援・育成などを目的とした施設。運営費の一部を「運営費補助金」として新潟市から交付を受けている。



⑦ 新築園病院付属有明診療所

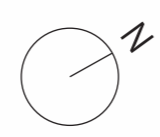
慢性腎不全患者に昼間の人工透析治療を行うとともに、一般外来の診療を行い、地域住民の健康増進に寄与する。また、本院(信楽園病院)及び地域医療機関との連携を図り良質な医療を提供する。



■ 建築概要

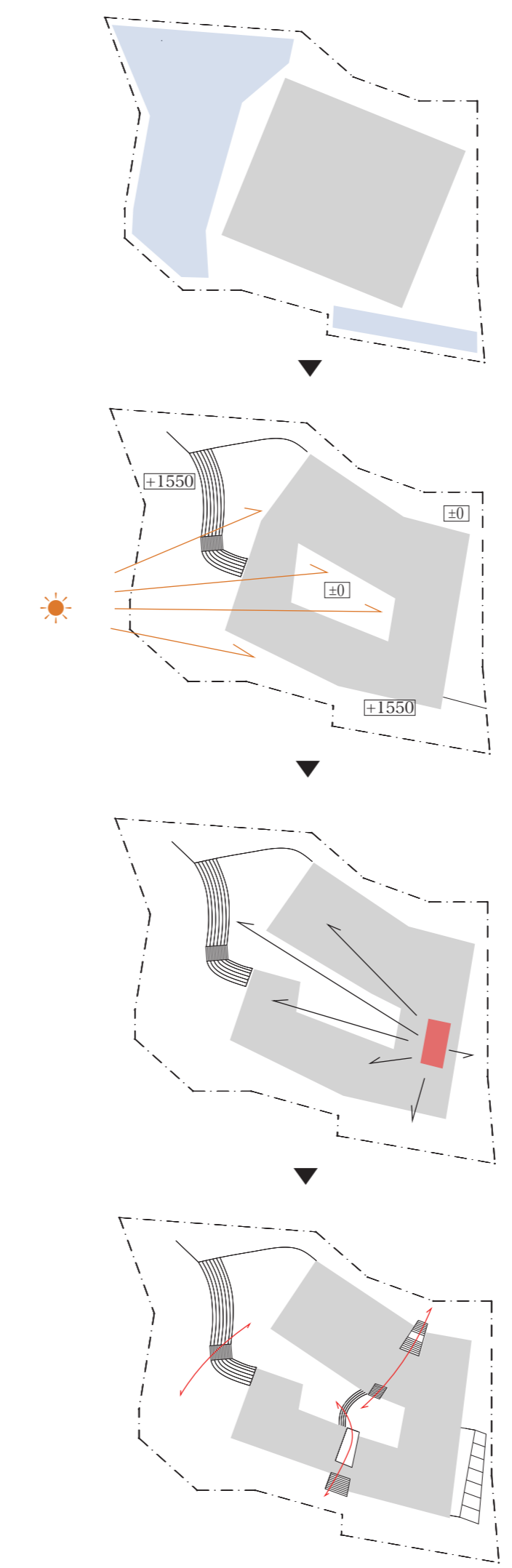
構造：rc造（壁式構造・体育遊戯室のみラーメン構造）
 敷地面積：約 2,700 m²
 延床面積：948.93 m²
 各室床面積：児童クラブ室① 72.25 m²
 児童クラブ室② 122.01 m²
 児童クラブ室③ 93.0 m²
 体育遊戯室 280.0 m²
 図書コーナー 30.37 m²
 他 351.3 m²

配置図・1F平面図 S=1/150

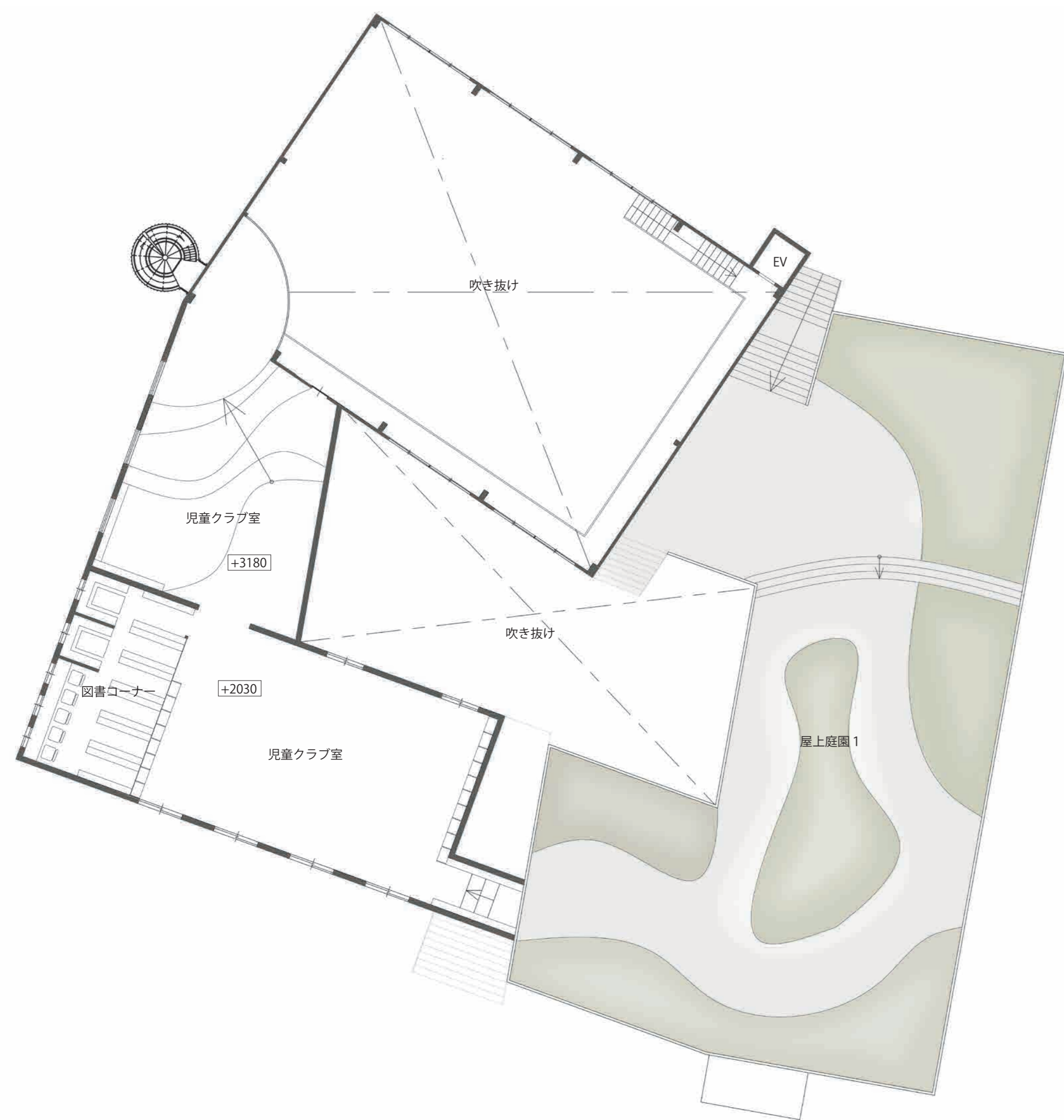


勾配で遊ぶ様子

■ ダイアグラム



- ① 近隣施設の園児や利用者がよく行き来し交流を図っていた場所を避け、ボリュームを置く。
- ② 既存の高低差を利用し空間を配置する。
- ③ 中央をくり抜き、館内に多くの採光が入るようにする。
- ④ 児童の様子を伺える位置に事務室を配置する。
児童クラブ室・体育遊戯室・玄関先等
- ⑤ 園庭で遊んでいる様子も伺えるよう、一部を切り取る。
- ⑥ 児童センターは運動を伴う遊びの空間が必要。
駆け回れるような「遊環構造」は集団あそびも発達させやすい。
→ 勾配や階段を設け、屋上を伝って回遊できるようにする。



2F 平面図 S=1/150

■ 体育遊戯室・庭園

不安定な場所：こどもだけでなく人間を鍛える（乗り越えようと身も心も働く）
 →不安定な場所が日常的にあることが必要。
 園庭は広く出来るだけ変化があるのが良い。斜面や小山は不可欠。
 遊具の例）ネット遊具、揺れる場所、ブランコ・吊り橋・ハンモック

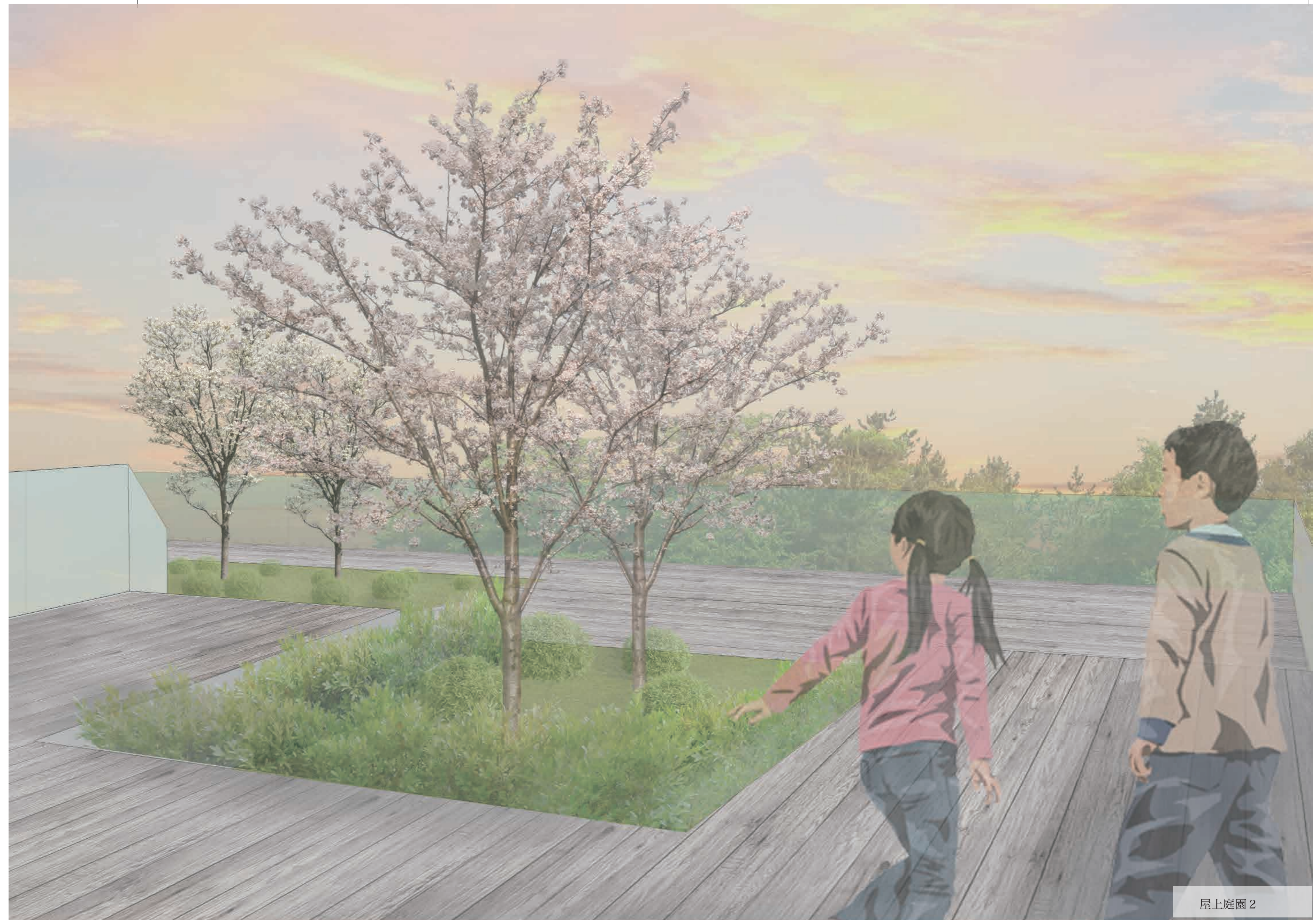
■ 図書コーナー・児童クラブ室

こどもが好んで滞留する場
 ・「別所」：他の場所から差別化された所（畳、マット、カーペットなど）
 ・「高所」：視点が変わる所（机上、畳、高い床など）
 ・「閉所」：囲まれた閉鎖的な場所、隠れる所
 こどもはその日のお気に入りの場所でお気に入りの姿勢で本を読む。
 →様々な空間、小さくて狭い空間、少し背の高い空間、カーペットの床、
 畳の床、フローリングの床など色々な床の上で本を読む空間を設ける。
 床の高さ、床材を変えて児童の好きな場所ですごしてもらおう

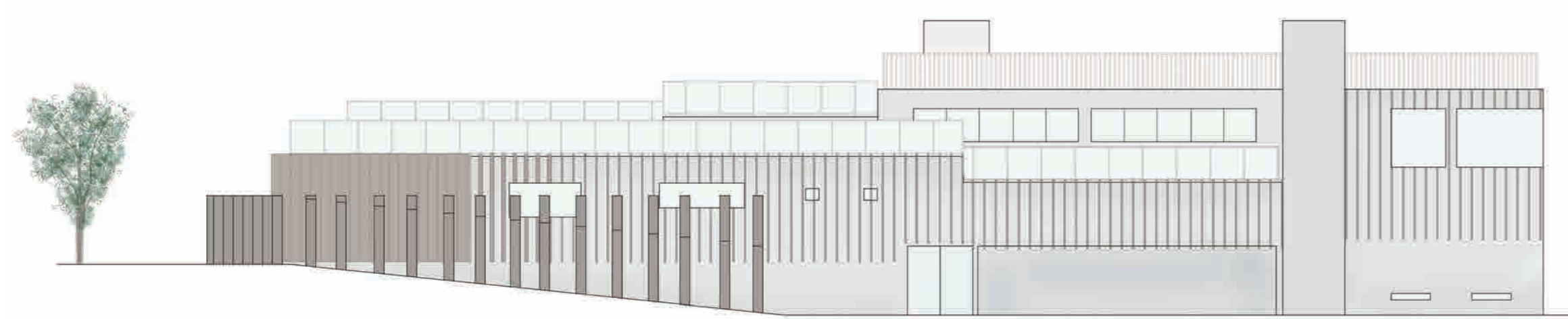




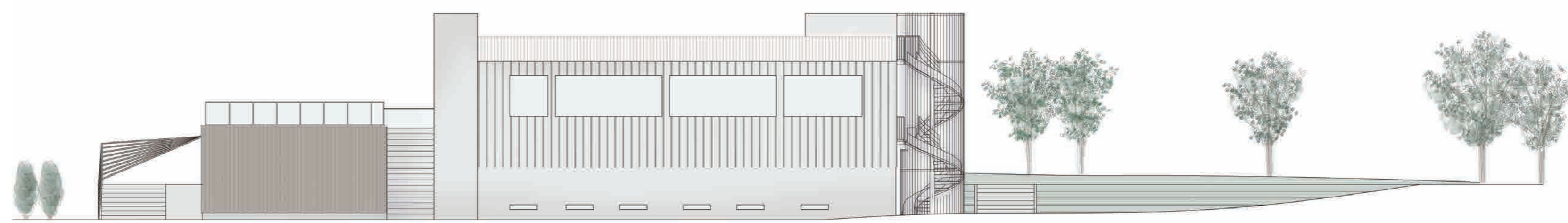
RF 平面図 S=1/150



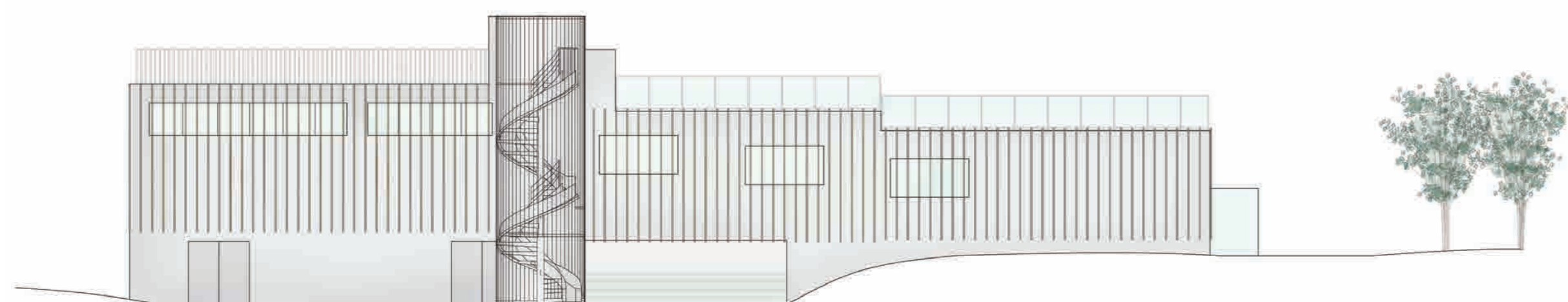
屋上庭園2



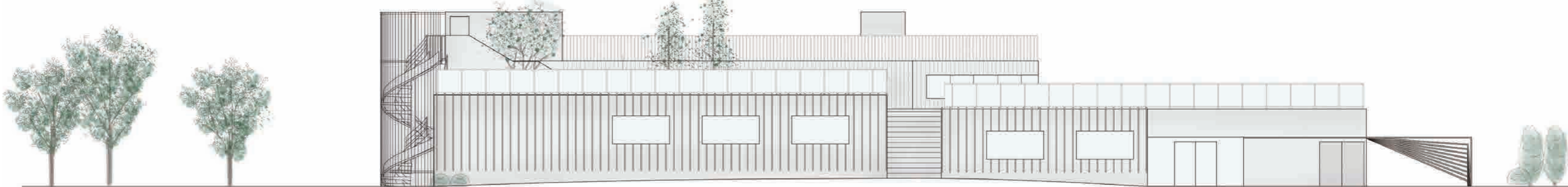
北側立面図 S=1/150



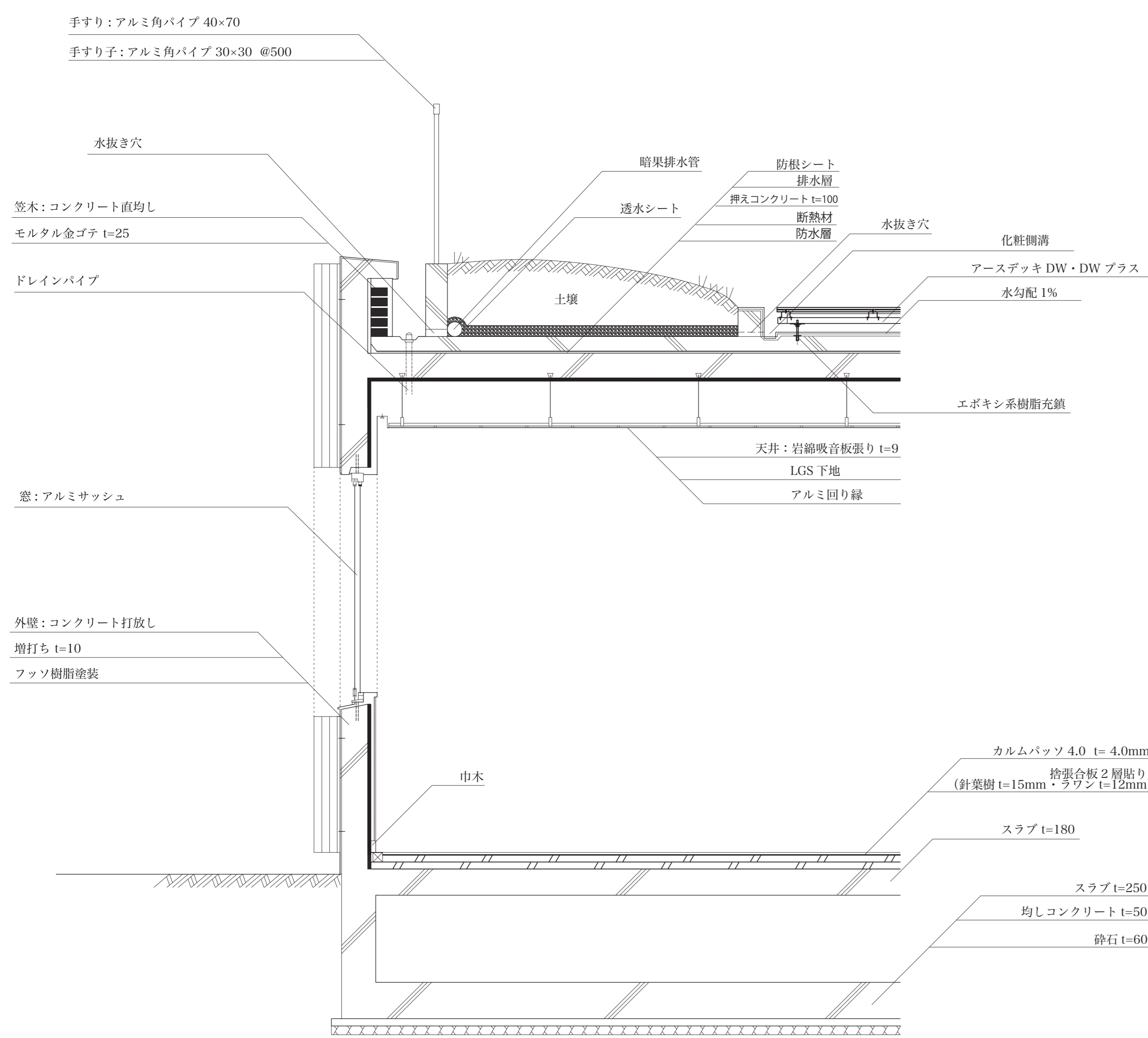
西側立面図 S=1/150



南側立面図 S=1/150



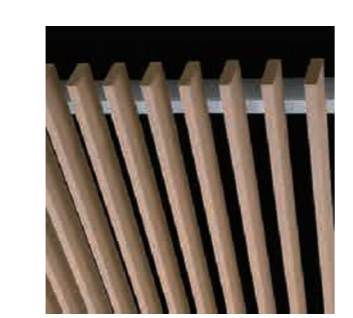
東側立面図 S=1/150



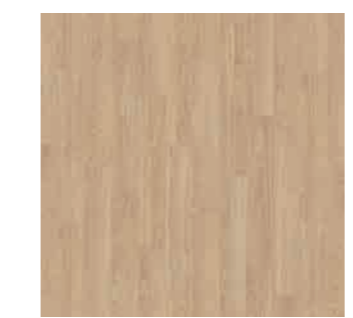
詳細断面図 S=1/20



デッキ材: アースデッキ DW プラス
木質系廃材と廃プラスチックを混合し押出成型した人工木デッキ材。天然木デッキ材と比べ変色やささくれの発生が少なくメンテナンス性に優れている。

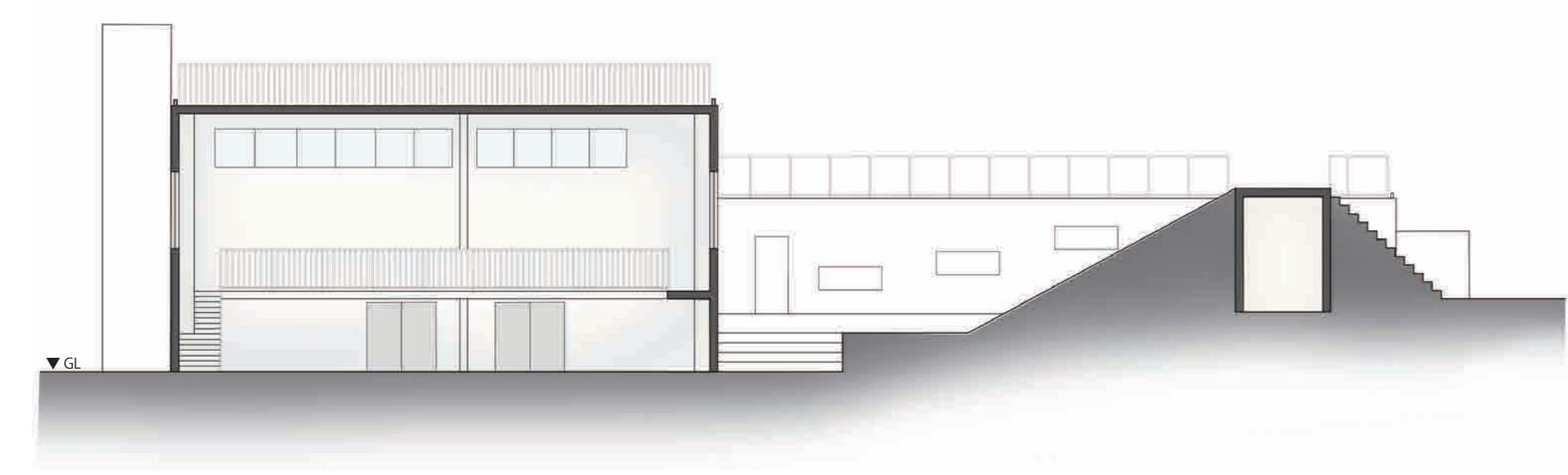


ルーバー: プリンカース FS シリーズ
スタンダードルーバーとして評価の高いプリンカースに、耐候性、耐久性にすぐれた特殊オレフィンシートを使用した外装用不燃ルーバー。

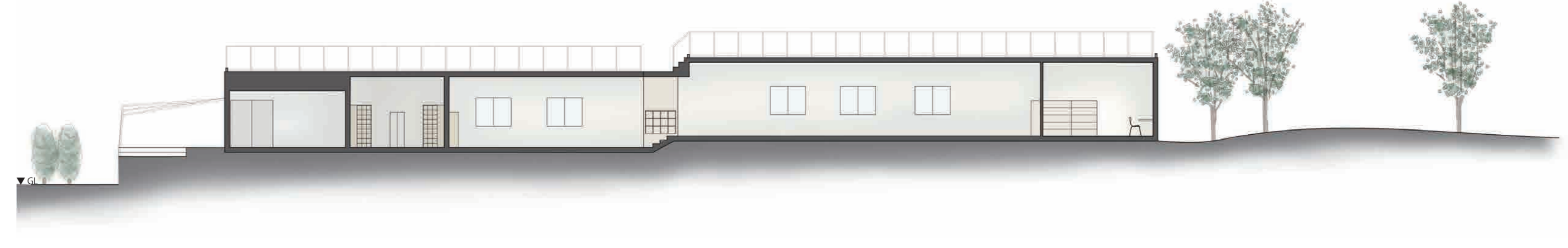


床材: カルムパツ
・耐薬品性
・衝撃吸収
・床発音抑制
・ノーワックスメンテナンス
・VO 対策品
・床暖対応

(全て ABC 商会の製品)
<https://www.abc-t.co.jp/products/detail/9890.html?ref=material.floor.sheetFile.shockAbsorption>



a-a' 断面図 S=1/150



b-b' 断面図 S=1/150



▲夏まつりの様子



▲福祉講習会の様子

